



もえぎの会理事・茅ヶ崎市議会議員 和田 清

「夢」を語る事の出来る福祉現場は、いつ来るのか？

福祉は今、長く暗いトンネルの中！

福祉は、大きな改革が進んでいます。日の当たらなかつた場所にも、少しずつ手が伸びていますが、どの現場も、人材不足や「職員のやる気」の問題が見られます。とても、「将来に夢を見て、明るい気持ちで仕事ができる」ようには感じられません。制度が変わったり、単価が下がったり、今までも大変だった現場で、混乱と不安が広がっています。障害者自立支援法は、目指す方向はとても良い法律ですが、現場にきちんと支援が成り立つ収入が確保されなければ、歪みが出てしまいます。まさに今、福祉は「暗く長いトンネルの中にいる」と言えましょう。はたして、このトンネルは出口が見えるのでしょうか？

なぜ、障がい福祉はきびしいのか？

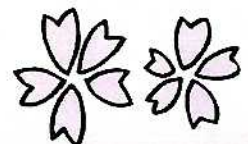
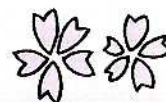
かつては、山奥に大きな施設が作られ、その中で閉じ込められる福祉でした。それが、「地域生活が大切だ」ということで、町中に通所施設やグループホームが出来てきました。建設の資金から職員の給与まで、国は「保障」してきました。今は、日割単価となり、職員の経験は考慮されず、効率よく、安い人件費でサービスをしなければならないのです。介護は、問題を抱えながらも、動いているので、障がい者にも導入しようとしたのが障害者自立支援法です。個別対応や障がい特性を理解する専門性が必要な分野では、上手く行くはずはありません。

地域独自の支援システムが「カギ」

どこから突破したら良いのでしょうか？ 地域の実情にあった仕組みを作っていくしかありません。国のモデルに無理に合せて、立派な施設を作る必要はないのです。身近な市区町村で、「こんな事で困っている。」「こんな支援があったら良いのに。」といった事から、一つ一つ積み上げることが大切です。障がいを持つ子は、地域で支えていくしかないのです。障害者自立支援法にメニューは、沢山ありますが、収入は保障されません。行政と連携して、ひとつひとつ実現して行くしかありません。

制度より先に実践あるのみ！

「制度を作る側にまわれれば、きっと支援体制が作れる。」と思い、市議会議員になって一年が経ちますが、最近思うのは、実践がないところで制度や支援を組立てようとしても上手くいかない、という事です。行政が仕組みを作ると、「かたち」から入り、実態に合わないのです。先行して良い実践が行われ、効果的に公的支援が行われてこそ「役に立つ仕組み」が出来るのです。採算の取れない支援も、利用者や家族の協力を得て、一つ一つ、積み重ねて行く事が必要です。議員も行政も福祉の向上を願わない人はいませんが、「良い実践」と「何が必要か」という情報が届いていないのです。今は、地域から変えて行く時代です。家族や地域の人たちの協力を得て、職員が中心となったチャレンジに期待します。



2008年度事業計画

施設長 渡邊 浩成

4月に入り、春の訪れとともに新年度が始まりました。季節の変わり目、人の出入りが多い季節ですが、その中でも、社員(利用者)が落ちついて過ごしているところを見ると改めて成長を感じます。

日本では、円高が進み、原材料の値上げがマスコミの話題として賑わせていますが、しいの実社でも仕入れや運営に影響が出ています。その中で、製品の原価計算を見直し、日時や天候などによって製造の調整をして乗り切っていこうと考えています。

障害者自立支援法では、さらなる定員の緩和が認められ、しいの実社でも、新規の社員を迎え、定員を超えた運営になりました。とはいえ、しいの実社内部もスペースに限りがあり、部屋の有効活用をしても限界があります。今までも、社員の空間・心地よい場所づくりには、力を入れてきましたが、今年はさらに新しい事業を検討していくことになると考えています。

しいの実社は、新体制になって3年が経ち、今年度の重点課題は下記のように計画しました。

- 1.運営体制、授産部門の再編成
- 2.マニュアル、書類、記録の整備
- 3.新体系の移行
- 4.新規事業の計画

課題が達成できるように、それぞれに詳細な計画を作り、1つ1つ確認しながら進めていこうと考えています。新体系移行の検討しながら、仕事の効率化、よりよい運営ができるように併せて行っていきます。

利用者が明るく、楽しく通ってこれることは勿論、地域に開かれた施設にしたいと考えています。また社員が、安心して生活できる為にしいの実社では何ができ、支援として何が不足で、何が必要かを見ながら進めていきます。

目黒区において、もえぎの会が新たな取組みの足がかりになるような年が始まりました。

ショップ

昨年度から月に1回お店やしいの実社で行うイベントや新製品の告知を主な目的としたショップ版「しいの実通信」を発行しています。今年度も継続して発行していく予定ですので、ショップに立ち寄られた際にはぜひお手に取ってください。

ショップは、しいの実社(社員・スタッフ)とお客様—地域をつなぐ重要な場所と考えています。

お客様が何度も通いたくなるような雰囲気作りに心掛け、みなさまの来店をお待ちしております。

お誘い合わせのうえ足をお運びください。

営業時間

10時～19時 (土日祝日休み)



しいの実祭 2007年11月23日

しいの実社の創立記念日のイベントとして始まりましたしいの実祭りも、早いもので6回を数えることとなりました。

当日は好天に恵まれ地域をはじめ多くの方にご来場をいただきました。今年もしいの実社の製品販売、また清水町会にご協力いただいたの焼きそば・フランクフルトの模擬店、外部のサークルをお招きしての人形劇などの出し物にはご来場いただいた方々に大変好評をいただきました。

地域や後援会の方々から献品していただきました品物は、後援会の運営によるバザーに出品させていただきました。昨年からの試みでしたがたくさんの方々にお買い求めいただきこちらも好評をいただけていました。

これからもしいの実祭りを通し、地域とのかかわりを深め、地域に根差していきたいと思えます。



しいの実社製品が買えるお店

☆手作り作品のボックスギャラリー ROSY TEL3715-2200 織物・クラフト製品

目黒区鷹番3-3-11 10:30 ~ 19:30 定休日 日曜日

ホームページ http://www.d7.dion.ne.jp/~terminal/spr/30_06.htm

☆くりえいと工房 MINK TEL3794-3600 織物・クラフト製品

目黒区鷹番2-18-3 11:00 ~ 18:00 定休日 土曜日・日曜日・祝日

☆サンライトヴィレッジ 織物製品

目黒区自由が丘2-5-10-101 月~金 11~13時 定休日 水曜日・土曜日・日曜日

☆千種屋 TEL03-3473-1032 織物製品

港区白金台2-26-8

☆メレンダ TEL3722-7054 織物製品

大田区田園調布1-52-16

ホームページ <http://merenda.iinaa.net/>

☆カフェ・ユイ TEL5701-6676 クッキー・織物・クラフト

*しいの実社の玄米パンを使用したランチが食べられます

世田谷区奥沢2-10-7 定休日 火曜日

☆目黒美術館 喫茶コーナーTEL3714-1201 クッキー

*喫茶コーナーの営業時間 13:00 ~ 16:00

目黒区目黒2-4-36 定休日 月曜日(美術館休館日)

会員インタビュー

清水町会

清水町会さんは今年60周年を迎え、会員数1850世帯、区域は目黒本町2～4丁目と鷹番1～2丁目の一部に及びます。今井会長、林副会長にお話を伺いました。

最近の町会の活動の中で特筆すべきものは、清水池公園の環境改善を数年かけて成し遂げたことだそうです。

もえぎの会とのお付き合いは現在の場所に「しいの実社」を新築する際、区議会議員でもある今井会長が当時の法人の須田理事長と一緒に近隣を廻り、挨拶、説得をしてくださったことに始まりました。今では林副会長がもえぎの会後援会の副会長でもあるご縁から、毎年のしいの実祭に焼きそばフランクフルト“担当班”として会員の方が多数参加していただき、そのパワフルな行動力と明るさですっかりおなじみになっています。

しいの実社の印象を伺うと、近隣にごく自然に溶け込んで運営されているのが良い、パンが美味しい、スタッフが皆とても熱心である、家族の絆が強い、など挙げてくださいました。これから望む事は、少子高齢化が進む現状の中で大変なことは多いと思うが、スタッフを中心に一致団結して前進して欲しい、町会としてそのための力添えをしたい、との大変心強い励ましを頂きました。もえぎの会も町会の会員として地域の役に立つ存在となっていきたいと思いました。



葉隠勇進

しいの実社が毎日のランチでお世話になっている葉隠勇進さんは、1970年に設立。病院、福祉施設、学校への給食業務と社員食堂や各種レストランの運営管理が主な事業です。現在従業員数1500名、関わる事業所は関東を中心に220箇所あります。モットーは社名にもある通り「葉隠れ精神」を現代に合わせて解釈して、お客様に心のこもった手作りのサービスをする、社会貢献をして人の為になる、とのことです。

しいの実社が目黒権之助坂近くにあり、まだ無認可だった頃に、営業に来て頂いてご縁が始まり、今ではランチの他にもえぎの会の年1度の懇親会に食事のケータリングサービスもお願いしています。

今回お話を伺った東京本部長の鈴木さん、栄養士の陳さんからは、厨房がとても使いやすい、ランチ献立表がカラーで立派(あまり他には無いとの事)、施設の雰囲気が良い、スタッフが協力的で利用者に良いランチを提供したいという気持ちがあるので共に良きパートナーでいられるとの感想を頂きました。障害者の就労に関しても、7年も老人ホームの厨房で働いている例もあり要望があれば職業体験の場を提供する形などで協力したいと前向きのお考えです。

お話の最後に、利用者の方の「葉隠さんにして良かった、美味しかった」という声は何より嬉しい、との言葉が印象的でした。

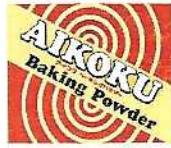
葉隠勇進株式会社

ホームページ: <http://www.hagakure.co.jp/>



萌木

大宮糧食



都立大学駅から徒歩数分、柿の木坂に「アイコクベーキングパウダー」の大宮糧食さんの本社があります。本日は取締役総務部長の橋本吉生さんにお話を伺いました。「ベーキングパウダー」と言うと皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。ケーキ作り、クッキー作りにはかかせない一品です。そして多分みなさんの家においてあるベーキングパウダーもここ大宮糧食さんの『AIKOKU』ベーキングパウダーではないでしょうか。アイコクベーキングパウダーは日本国内のベーキングパウダー製造販売の50%を占めているそうです。昭和5年に日本の食生活の洋風化に着眼し、ベーキングパウダーの製造、販売を開始、昭和7年に新宿に大宮商店を設立、以降アイコクベーキングパウダーを全国的に販売開始となりました。クッキーやケーキ以外にもパン、天ぷら、フライ、ゼリーや和菓子の製造にも利用されるそうです。ベーキングパウダーは重曹やリン酸カルシウムなど約300種類にも及ぶ添加物の中から5~10類を配合したものでお菓子などをふんわり仕上げたり、美観、食感、香りをよくするために使われるそうです。その様々な用途(食感、膨らむタイミング、食感などの違い)に合わせてその配合を変えて製造しているということでした。目黒区の芸術振興財団にも携わっていて、そのご縁からもえぎの会の後援会清水会長、沼野副会長に紹介されてもえぎの会后援会に入会なさったそうです。東京本社の他に、世田谷に販売部門の愛国産業(株)、相模原に研究室と工場があり最近では中国に会社を設立。相模原工場では2名の知的障害者の方が働いているそうです。その2名は従業員の家族だということですが、知的障害者の雇用に向けて積極的に取り組んでいかなければいけない、と前向きな話を伺えました。



新規後援会員をご紹介ください

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ちいただくか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会后援会

問い合わせ先 もえぎの会后援会事務局(電話:03-5724-7153)

* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

沙羅の家

《新しい入居者》

世話人 長谷茂雄

沙羅の家は昨年9月に無事に1周年を迎え、同じ月に新しい入居者、野村さんを迎えました。野村さんは日中はしいの実社で織物や製菓、置き菓子の作業をしています。他の沙羅の家の利用者さんとは、同じ施設に通うよく知っている仲間であることもあり、新しい生活にもすぐに慣れることができました。沙羅の家での余暇の時間には、読書やTVを見て過ごしています。読書は車関連のカタログや地図を好んで読んでいます。もちろん他のみなさんと同じくお手伝いや身の回りの出来る事もしっかりと行なってもらっています。

30代の男性ばかりのケアホームですが、これからも仲良く過ごしていきたいです。



《外食会》

昨年の11月と今年の1月に前回好評だった外食会を再び実施しました。11月は夏に行なった外食会と同じお店の「サイゼリヤ」へ行き、1月はしいの実社の近くにあるカリフォルニア料理店の「インディゴ」へ行ってきました。サイゼリヤでは皆さんの大好きなメニューのスパゲッティやステーキ、グラタンなどを食べました。もちろんデザートも付いて大満足の様子でした。

また、インディゴではコース料理にチャレンジをしてみました。前菜からデザートまで一品ずつ出てくるので少し間が持たない場面も見られましたが、およそ2時間かけて美味しい料理に舌鼓を打ち、いつもとは違った雰囲気の中で貴重な体験をしてきました。みなさん毎回外食会は楽しみにしているようですので、これからもたくさん企画したいと思います。

編集後記

後援会員インタビューに加え、委託販売先の紹介をさせていただきました。改めてもえぎの会は多くの方に支えられているのだなと感じます。

もえぎの会も少しずつ着実に地域に貢献できる存在になりたいと思います。今後ともご支援・ご指導のほどお願いいたします。(岡田なおこ)

発行：社会福祉法人もえぎの会

住所：目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部)電話：03-5724-7153

e-mail：shiiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

